

町長マニフェストに係る事業進捗評価（令和3年3月31日現在）

「町民が幸福で豊かな生活ができる町」を目指し、人や産業を育てる施策(ソフト事業)、人や地域や産業に寄り添った行政サービス、後世に負担を残さない行政を目指します。

マニフェスト基本方針

1. 豊かで住みよい町づくり
2. 地元産業が元気になる町づくり
3. 安全・安心な町づくり
4. 心やすらぐ町づくり
5. 自立した町づくり

進捗評価

事業進捗評価に当たっては、各施策の進捗状況について、5つの基本方針に基づく**合計30の項目毎**にどの程度実施できているかという視点から、右記のとおり4つの進捗度指標により評価する。

進捗度	コメント
A	達成済
B	達成に向け、進捗が見られるもの
C	進捗度の低いもの
D	未実施

1. 豊かで住みよい町づくり

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
1-1	子育てサポート体制の充実 （保育園の運営、情報交換の場の創出） 【方針】 ▶ 保育園運営形態の検討	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：住民課 副：健康福祉課 副：教育課	▶ 保育園への運営方法について、R3年1月に唐津市内の保育園へ視察を行った。調査結果を踏まえ、民営化及び公営のメリット・デメリットを取りまとめ、方向性を決定する。 ⇒ メリット・デメリット・・・保育サービス、コスト、雇用（任期付）の問題等 ⇒ 民営化の手法である「移管」と「委託」の運営形態について、比較した結果公立保育所としての運営継続が望ましい。 ▶ R1年度に開設した病後児保育「わんわん」について、R2年3月議会で指摘のあった利用者範囲の拡充を指定管理者、福祉施設所管の健康福祉課と三者で慎重に検討する。 ▶ 要保護児童・要支援児童の状況報告及び確認を行い、関係機関と連携している。（4ヶ月に1回） なお、緊急性が高いケースについては、関係機関と個別ケース検討会を開催し、支援の在り方を検討して対応している。 ▶ H31年4月に「子育て世代包括支援センター」を役場内に設置。 ⇒ 妊産婦及び乳幼児並びにその保護者を対象に、妊娠期間から出産・育児期にかけて切れ目ない支援を行う。 ▶ 「げんかいいこアプリ」について、R2年度から施行運用開始。R3年4月1日から本格稼働。（内容：お知らせ機能、妊娠中・予防接種等の記録管理）

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
1-2	学校生活の支援 (給食費無償化) 【方針】 ▶ 学校給食費の無償化 ▶ 奨学金返済の負担軽減	A	達成済	主：教育課	▶ 玄海町学校給食費補助金交付要綱をH31年3月に制定。 みらい学園児童の保護者を対象に説明会を実施し、 同年4月から給食費の無償化実施 。 ▶ H26年3月31日以前の奨学金貸付分について、現行と同じ返済期間に統一し負担の平準化を図るため、12月議会にて 奨学資金貸付条例 を改正。 ▶ R3年度から 玄海みらい学園入学祝金 を創設する。
1-3	個性を伸ばす教育の推進 【方針】 ▶ タブレット学習の導入	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：教育課	▶ タブレット学習について、H31年6月にグレードアップ学習（3～6年生の計33名）の中で試験実施。⇒ テスト点数の結果にも一定の効果を確認。 ⇒ タブレット555台をR2年8月に納品し、9月授業から タブレット学習を開始 。 ▶ プログラミング学習 について、前期課程はR2年10月から 授業へ導入 。 後期課程は、R3年度に必修化とされるため、導入に向けた準備を進める。 ▶ 部活やスポーツ・習い事との両立を図りながら、学力の更なる向上を図るため また、学力向上により将来の選択肢・可能性を広げる支援を行うため、株式会社さなる九州と連携し、R3年4月に 公営学習塾（九大進学ゼミ玄海校） を開校する。
1-4	図書館の拡充、児童館の新設 (図書館新設、図書購入助成金) 【方針】 ▶ 図書館(複合施設)の整備検討 ▶ 児童館新設の検討	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：教育課 副：住民課	▶ R1年度に「 玄海町図書館整備検討委員会 」を設置。 7回の委員会と2回の先進地視察を実施し、最終的に検討結果報告書をまとめ、R2年3月議会で調査及び検討結果を報告した。 ▶ R2年度は4回の策定検討委員会、3回のワークショップを開催し、複合施設を含む図書館の規模、機能、整備場所などを協議し、パブリックコメントを踏まえて 玄海町図書館等複合施設基本構想 をR3年3月に策定した。 協議を進めるにあたり、住民アンケート、利用者ヒアリング及び先進地視察研修を実施した。 ⇒ 令和3年度に図書館等複合施設基本計画を策定予定。 ▶ R2年度から 図書館ポイント事業 を実施した。 ポイントカードに付与されたポイントを1,000円分の図書カードと交換可能。 ▶ R3年2月に今後の 児童館 のあり方について、保護者を対象とした説明会を開催。今後の方向性について、合意形成を図っていく。 ⇒ (児童館の方向性) 図書館との複合施設として児童館を新設予定 。 今後、児童数減少を見据え、2館の統合を含め検討を行っていく。

No	項目	進捗		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
1-5	働く場の創出	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：企画商工課	▶ 新たな雇用創出の機会となる企業の誘致について、R2年度に協議をしており、誘致実現のため慎重に検討している。
1-6	交流拠点の創出	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：企画商工課	▶ R2年度に浜野浦の棚田で「青空レストラン」、海上温泉パレアで「うみやまるしえ」を開催し、交流拠点の創出に向け、試行事業を実施した。 ▶ R2年度に町内の公共・観光施設内に住民や観光客が簡単に利用できる無料WiFiを設置し、施設内で過ごしやすい環境を整備した。（防災安全課）
1-7	移動手段の確保 （交通弱者、買い物難民の対策）	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：防災安全課 主：健康福祉課	▶ H30年度から運行開始した玄海町コミュニティバスについて、マイクロバスを導入したことに伴い、R2年8月から1台運行から2台運行へ運用を変更した。併せて、時刻表・走行ルートを改正した。改正後の利用状況、利用者等からの要望、及びコスト面を踏まえ、利便性向上のための見直しや、見直しにおける基準等の検討を進める。また、住民ニーズを踏まえたデマンド型交通への調査検討を始めていく。 ▶ 高齢者の交通事故の抑止を図るため、R2年度から運転免許証自主返納支援事業を開始した。移動手段が変わることから、バス等に利用できる交通サポート券を交付し、免許証返納代行申請の受付を行った。事業開始に伴い、例年に比べ免許返納者が増加している。引き続き、本事業の普及に努め、高齢者の交通事故の抑止を図っていく。 ▶ 買い物弱者への支援策について、事業者が移動販売車を活用した商品販売を行えるよう事業開始に伴う費用の一部を補助する買い物弱者支援事業をR2年度に実施した。公募型プロポーザルで選定した事業者が戸別訪問によるニーズ調査を実施し、R3年3月から移動販売を開始した。 ▶ 交通弱者への支援策について、公共バス利用への補助が検討されるが、事業者側が導入に否定的であるため、代替案として交通サポート費用を支給する形で支援を検討していく。
1-8	医療、生活の支援 （経済的負担の軽減、じいちゃんばあちゃん助成金） 【方針】 ▶ 後期高齢者への医療費助成 ▶ じいちゃんばあちゃん助成金	A	達成済	主：健康福祉課	▶ 後期高齢者医療費助成について、後期高齢者の保健の向上と福祉の増進を図るため、R3年3月に玄海町後期高齢者の医療費の助成に関する条例を制定。後期高齢者の医療費の自己負担額について、3万円を上限として助成する本町独自の医療費助成制度を開始する。 ▶ じいちゃんばあちゃん助成金について、高齢者の日常生活や外出時の安全性の更なる向上のため、R2年度からシニアカーをR3年度からラップボン（ポータブルトイレ）を対象品目に追加した。

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
1-9	看護、介護の支援 (介護環境・地域包括ケアの充実)	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：健康福祉課 副：住民課	▶ R2年度に在宅医療・介護連携事業の一環で、唐津市及び唐津東松浦医師会と連携し、老後の生き方を考える冊子「いしかたノート」を製作し、配布。 ▶ R3年度から介護専門職人材を確保し、町民が安定した介護サービスを受けられるようにするため、町内の介護施設に就職する者を対象とした介護職員等就職支援奨励金制度を創設する。 ▶ 子どもの医療費助成事業について、医療費助成の対象年齢を15歳から18歳に引き上げを行った。(R1年10月1日施行) ▶ 在宅で0歳児から2歳児までの子育てをしている世帯への支援を検討している。出生祝い金受給時のアンケートを踏まえ、制度設計を行う。 ⇒ 出生祝い金の見直しを含め、どのような支援内容とするか慎重に検討。
1-10	健康意識の向上 (保健体制の充実、保健師の増員)	C	進捗度の低いもの	主：健康福祉課	▶ R3年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組み(正規職員の保健師等を専従させ、データ分析、保健事業の企画調整を行う。)を実施する。
1-11	生活困窮者救済	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：健康福祉課	▶ 佐賀県生活自立支援センターが実施する家計改善支援事業、就労準備支援事業(佐賀県からの委託事業)や役場の各種相談事業の実施。 ▶ R2年度は、コロナの影響もあり生活保護申請が例年より多い状況。併せて、1人親の精神関係の相談が多くなっているため、関係機関と連携し、町として適切に対応していく。

2. 地元産業が元気になる町づくり（「2-4」「2-5」：R2年度新規追加項目）

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
2-1	担い手不足の解消 （新規就業や外国人技能実習生の支援）	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：農林水産課	▶ R3年度から担い手育成事業（漁業）として、新たに漁協の正組合員になった者を対象とした 新規就業支援策（次世代人材投資資金・家賃補助金） を実施する。
2-2	生産から販売まで必要に応じた支援（高付加価値化、販路拡大漁協合併） 【方針】 ▶ 漁協合併化	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：農林水産課 副：企画商工課	▶ 漁業合併について、合意形成を図るため、継続して両漁協と調整していく。 ▶ 高付加価値化・販路拡大について、新型コロナウイルスの影響により養殖魚が売れなくなったことから、漁協で販売の方法を模索しており、 刺身の商品開発 を行っている。町として、冷凍加工（冷凍フリーザー）を行った刺身の 販促支援 を実施する。 ▶ R3年2月に設立した地域商社設立に併せて、玄海町産品を取扱う ECサイトの構築 を行っており、販路の多様化に繋げる。 また、小売法人への町内産品を卸す 外販事業 を商社の中で検討している。 ▶ R2年度に浜野浦の棚田で耕作している生産者と協力し、「 浜野浦の棚田米 」を開発し、ブランド化支援を行った。
2-3	運転資金の有効活用 （123の充実等）	A	達成済	主：企画商工課 副：農林水産課	▶ 玄海町元気1・2・3産業振興資金について、H31年4月に 融資限度額を1,000万円 に引き上げた。 ⇒ R2年度から補助事業の裏財源に充てられるように運用を変更した。
2-4 (新規)	地域資源を活かした外貨を稼ぐ地域づくり 【方針】 ▶ 地域総合商社の設立	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：企画商工課	▶ 町内の産品などを、町外（主に都市部）に販売することで外から内へ「外貨を稼ぎ入れる」事業を実践し、町内事業者の所得向上と玄海町を応援する町外のファンづくりを目指すため、 玄海町みんなの地域商社 をR3年2月に設立した。 R3年度から、ふるさと納税受託事業、EC（通販）事業、外販事業、観光体験事業など本格的に事業を開始する。 ⇒ 地域商社には、玄海町、仮屋・外津漁業協同組合、唐津上場商工会、唐津農業協同組合が参画。

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
2-5 (新規)	新たな産業資源の創出 【方針】 ▶ 薬用植物に係る産業推進	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：農林水産課	▶ ミシマサイコやドクダミなどの薬用植物（栽培原材料）の生産拡大を図りながら、薬用植物栽培研究所、ジャパンコスメティックセンター及び関係自治体（佐賀県、唐津市）と連携し、薬用植物市場への 販路展開に繋げる 。 ▶ R2年度から町内のため池に自生する菱を ポリフェノール等の成分分析 を行っており、分析結果を踏まえて、 商品開発 ができないか検討している。 ▶ ミシマサイコ茶のペットボトル の製造が決定し、味の調整・ラベルの表示内容・栄養成分の調査を実施し、 R3年3月に完成 した。 ⇒ 商品化し販売できるように、事業者との連携を模索し、全国展開を含めて今後方向性を検討する。

3. 安全・安心な町づくり

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
3-1	水環境など公害の防止 (バイオマス整備、藤ノ平ダムのア オコ対策)	B	達成に向け、 進捗が見られる もの	主：農林水産課 副：生活環境課	▶ R1年9月に農水省で玄海町バイオマス構想に関するプレゼンを行い、11月に玄海町が「バイオマス産業都市」に認定された。 ⇒ R2年度に企業組合の設立、R3年度に国への交付金（食料産業・6次産業化交付金）申請、R4年8月からのバイオマス施設の稼働を目指し準備を進める。 ▶ アオコ対策について、アオコ環境影響評価指針調査（H29～H31）の結果を事業者（西日本技術開発㈱）に確認依頼。対策に係る検証を実施。 ⇒ アオコ抑制のためにはリンや窒素を抑制する必要があるが、現状のバッキで循環させることが最も良い対策との回答あり。今後は、国営かんがい排水事業の計画を進める中で、バッキ以外のアオコ対策ができないか検討・調整を行う。 ▶ 有浦川の水質検査結果を確認し、窒素及びリンの数値に大きな変化はなかった。今後も継続して調査を行い、数値を注視していく。
3-2	住環境の整備 (宅地造成や空き家等対策)	B	達成に向け、 進捗が見られる もの	主：まちづくり課 副：防災安全課	▶ R2年度から空き家バンク制度を開始。 ⇒ R3年2月末現在・・・空き家登録物件15件、空き家利用者登録者14件 ▶ 空き家バンクリフォーム等促進事業補助金について、R3年度から空き家解体補助を拡充 （上限額50万円→100万円） ⇒ R3年2月末現在・・・9件（申請予定含む） ▶ 宅地造成について、R2年10月に江北町へ視察を実施し、予算面、スケジュール感を確認。政策会議で今後の事業計画を協議し、全員協議会で候補地を含めて説明を行う。 ▶ 町営住宅について、R2年度にPFI協会とアドバイザー契約を締結し、町営住宅の建設に向けた実施方針案を精査。政策会議で今後の事業計画を協議し、今後全員協議会で候補地を含めて説明を行う。 ▶ R3年度に定住政策をミッションとする地域おこし協力隊員を任用する。 ⇒ 空き家バンクの窓口・問合せ対応、PR活動、SNSによる情報発信等 ▶ H29年度に策定した空き家等対策計画について、R3年度に実態調査を行い、R4年度に計画の中間見直しを予定している。 （計画期間：H30年度～R9年度）

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
3-2	住環境の整備 （宅地造成や空き家等対策） 【方針】 ▶ 宅地造成候補地の選定 ▶ 町営住宅の建替え	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：まちづくり課 副：防災安全課	（続き） ▶ R1年9月議会にて 玄海町空家等の適正な管理及び活用の促進に関する条例 を制定した。 ⇒ R3年度から空家等除却促進事業補助金を拡充（上限額50万円→100万円） ⇒ 事業開始から現時点（R3.3.31）までに、特定空家等に認定した2件について、補助制度を利用し解体され、また、相続放棄された特定空家について、相続財産管理人の選任の申立を行い、解体に至り、 空家の危険性が解消 された。 特定空家等の認定実績は5件で、うち3件が解消された。残り2件について現在対応している。
3-3	防災体制の強化 （危機管理対策と防災・避難計画の見直しと整備） 【方針】 ▶ 防災センターの設置	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：防災安全課 副：まちづくり課	▶ R2年2月から 防災専門官を任用 し、近年頻発している豪雨や台風等の大規模災害に対して、より効果的な防災・減災対策の取り組みを強化している。 ▶ R2年度から原子力に関する知識、経験を有する者を 原子力アドバイザー として委託し、役場にて従事。（月10日程度） ▶ R2年度に防災関連計画策定業務委託を発注しており、 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた計画 とするため、業務期間延長（繰越）手続きを含めて計画内容を慎重に精査していく。 ⇒ 避難勧告等発令基準の法律改正に伴い、本業務の地域防災計画・防災マップ等に反映するため、R3年8月末まで業務期間延長予定（繰越）
3-4	防犯体制の充実 （防犯灯や街灯のLED化、防犯灯の維持管理を町に移行）	A	達成済	主：まちづくり課	▶ R2年度から地区管理の防犯灯を町へ移行し、 維持補修を町で実施 しており、統合型GISシステムで、防犯灯の管理ができるよう整備する。 防犯灯の電球が切れたタイミングで、蛍光灯の防犯灯から順次 LED化 を実施している。 ⇒ R3年2月末現在 LED化実施基数：80基

4. 心やすらぐ町づくり

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
4-1	自然や景観を生かした観光振興（天狗岳構想） 【方針】 ▶ 浜野浦の棚田の振興 ▶ 玄海海上温泉パレアの利活用	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：企画商工課 副：まちづくり課	▶ R1年度に策定した棚田整備計画について、浜野浦区民・地域婦人会を対象に 地元説明会 を実施。引き続き関係者との意見交換を行い、今後の方向性を検討する。 ▶ パレアについて、R元年度・R2年度に実施したサウンディング型市場調査にて民間の意見を取り入れて、 パレアの入浴料等の改正、指定管理料の引き上げ、指定管理期間の変更（3年→5年）等 をR3年度から行う。また、R2年10月に RVパーク2台 をパレア駐車場に設置した。 ▶ 天狗岳について、R2年度から観光の振興を目的として実施する事業の広報に要する経費及び観光地の維持管理に要する経費を目的とした 玄海町商工観光事業補助金 を創設した。 ⇒ R2年度事業：天狗岳遊歩道整備事業（仮屋老人クラブ）
4-2	歴史・スポーツ・生産品などの活用（合宿の里構想、食などの観光開発） 【方針】 ▶ 合宿の里構想	C	進捗度の低いもの	主：企画商工課 副：教育課	▶ 合宿の里構想 （町民会館の料金体系の見直し、宿泊施設としての環境整備）は、検討が進んでいない。
4-3	歴史の再認識（マンガや副読本での普及）	D	未実施	主：教育課	▶ 町史の概要版、副読本の作成については事業実施の方法を検討していく。子ども達に町のことを知るきっかけとなるような本（わたしたちの玄海町（H3年初版、H8年第2版））の作成を検討する。
4-4	文化の発展（文化活動の支援、文化行事の充実）	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：教育課	▶ 子どもから高齢者まで幅広い層に日本の文化を身近に感じてもらう機会を提供するため、文化人や歌手等を選定し、 毎年文化講演会を開催 していく。 ⇒ R1年度は、11月2日に文化講演会（歌手：丘みどり氏）実施。 ⇒ R2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止。代替案として、R3年1月に 映画上映会 を開催した。 ▶ 町を題材とした 小説、イラスト等 を全国公募し、文化活動を通じて町のPRをするため、R3年度に 小説公募事業 を実施する。

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
4-5	スポーツ活動の活性化 (プロを育てる環境の充実)	C	進捗度の低いもの	主：教育課	▶ 外部コーチの招聘について、玄海みらい学園にどの部活動にニーズがあるのかヒアリングを実施。今後、外部コーチの参画によるスポーツ活動の活性に向け事業実施の方法を検討していく。
4-6	町おこしグループへの支援 【方針】 ▶ 月に1回イベントが開催される町	A	達成済	主：企画商工課	▶ まちづくり活性化促進事業による支援。 ▶ 町のにぎわい創出・地域づくり団体等の活性化・持続可能な地域づくりの推進を目的とした地域イベント事業費補助金（補助上限額30万円）をR2年度から新設した。 ⇒ R2年度事業：玄海町のバスケの火を灯そう事業、グルメスタンプラリー事業 仮屋湾産 牡蠣・サザエ特売会事業 等

5. 自立した町づくり

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
5-1	政策推進室の設置と機構改革 【方針】 ▶ 政策推進室の設置 ▶ 機構改革の実施	A	達成済	主：総務課 主：政策推進室	▶ H31年4月に政策推進室を設置し、同年10月に機構改革を実施した。 ⇒ 機構改革実施後の検証として、R2年3月に職員対象のアンケート調査を実施。 ⇒ R3年度以降の機構改革については、状況に応じて柔軟に対応する。 事務分掌レベルで変更が必要かどうかについては、課長会で協議していく。
5-2	職員提案制度および公聴の拡充（行政管理のボトムアップ、町民の声への対応の公表）	C	進捗度の低いもの	主：防災安全課 主：総務課	▶ 広報玄海のアンケートについて、庁内へ周知し、情報共有を行うだけでなく質問や要望等への回答コーナーとして、「じいやに聞いてみようのコーナー」を11月号に掲載した。今後とも、町民の身近な疑問に答えるコーナーとして、充実させていく。 ▶ 職員提案制度について、現在新しい行財政改革の策定を行っており、その中で 改革項目（人材育成） に挙げている。他の項目との連動も考え、効果的な制度内容を課長会などで協議し、実施検討する。
5-3	財政計画と納税制度の見直し（10年の財政計画策定、納税回数増） 【方針】 ▶ 住民税、国民健康保険税等の納期数増による負担軽減	A	達成済	主：総務課 主：住民課	▶ H30年度に策定した長期財政計画を基本とし、R2年度に 中期財政計画の見直し を行い、長期財政計画に反映させた。 毎年見直し（ローリング）をしていくが、R2年度に実施している中期財政計画の規模の見直しをどの程度のスパンで実施していくかは今後検討していく。 ▶ 納税者の負担軽減のため、住民税及び固定資産税の 納期数の変更に関する改正税条例 をR1年9月議会に上程し、R2年4月から改正後の運用を開始した。 ⇒ 住民税：8期から10期へ変更 固定資産税：4期から10期へ変更

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
5-4	教育・スポーツ・医療・企業誘致・産業育成などあらゆる分野での産官学連携	C	進捗度の低いもの	主：企画商工課 副：教育課 副：健康福祉課 副：農林水産課	▶ H28年度から海洋教育を官学連携（東京大学）により取り組んでいる。また、西南大学及び九州産業大学と国際交流、異文化交流による連携も行っている。 ⇒ R2年度の海洋教育（東京大学）、国際・異文化交流（西南大学及び九州産業大学）は、新型コロナウイルス感染症により中止。 ▶ 薬草園について、九州大学と薬草の研究分野の協定を締結。 ⇒ 薬草事業だけでなく、教育分野での玄海みらい学園との連携についても検討していく。 ▶ ミシマサイコ茶のペットボトルの製造が決定し、味の調整・ラベルの表示内容・栄養成分の調査を実施し、R3年3月に完成した。 ⇒ 商品化し販売できるように、事業者との連携を模索し、全国展開を含めて今後方向性を検討する。

進捗度指標A「達成済」及びB「達成に向け、進捗が見られるもの」を合計したものを達成度として設定し、合計30項目の評価結果を集計したところ下記のとおりとなりました。

進捗度・達成度

※R3年3月31日時点

進捗度	A	達成済	7項目 / 30項目 ⇒ 23.3%
	B	達成に向け、進捗が見られるもの	17項目 / 30項目 ⇒ 56.7%
	C	進捗度の低いもの	5項目 / 30項目 ⇒ 16.7%
	D	未実施	1項目 / 30項目 ⇒ 3.3%
達成度	A・B	達成済 又は 達成に向け、進捗が見られるもの	24項目 / 30項目 ⇒ 80.0%